



令和3年

火災

救急

救助

通信

概況

上越地域
Joetsu Area Fire Dept.
消防局

目次

火災編

1	火災発生状況.....	1
2	火災の特徴.....	2
3	出火原因.....	4
4	火災による死傷者.....	5
5	損害額の推移.....	5
6	焼損面積の推移.....	6
7	住宅火災の状況.....	6
8	住宅用火災警報器.....	7
9	火災状況比較.....	8
10	管内地域別署所別火災状況比較.....	9

救急編

1	救急出場状況.....	10
2	救急搬送人員.....	12
3	救急活動平均所要時間.....	13
4	応急手当実施状況.....	14

救助編

1	救助出場状況.....	16
2	地域別救助出場状況.....	17

通信編

1	119番通報受付状況.....	18
2	口頭指導状況.....	19
3	外国語通訳状況.....	19

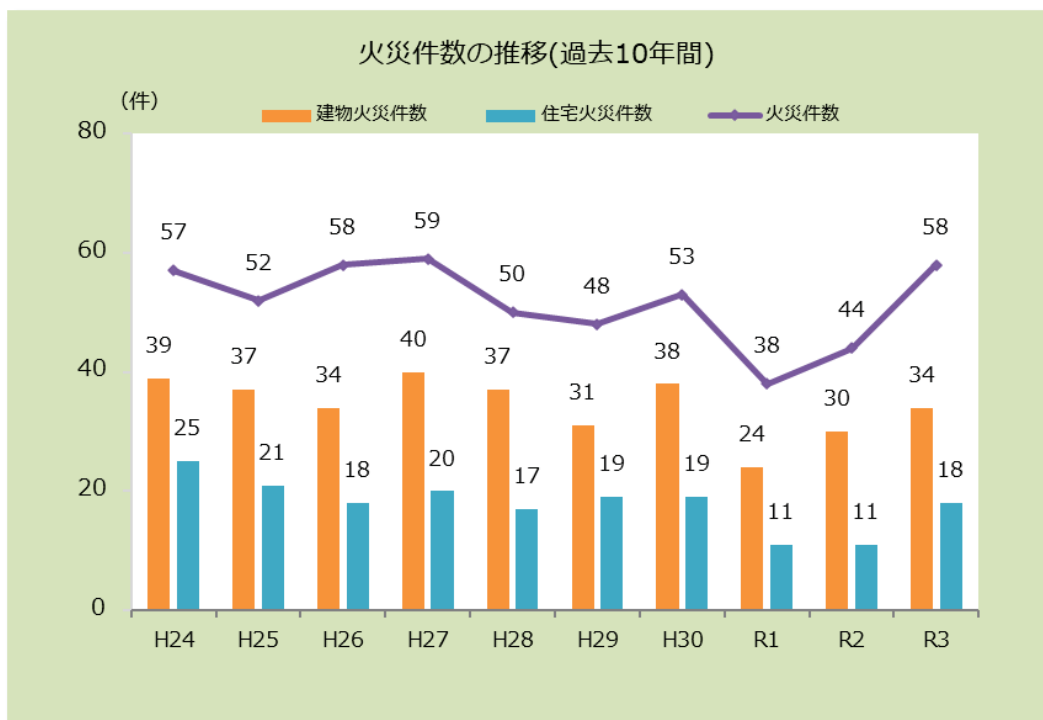
火災編

1 火災発生状況

■ 火災件数は58件

令和3年の火災件数は58件で、前年比で14件増加しました。最も多く増加したのは車両火災で6件の増加、次いで建物火災が4件増加しました。

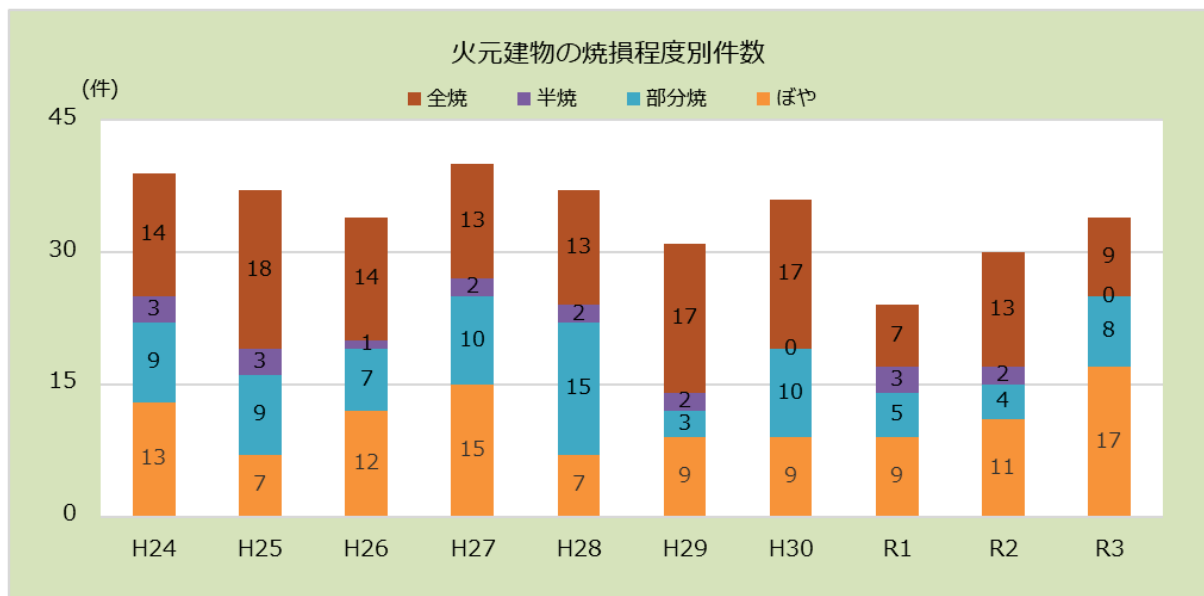
火災発生状況					
	令和2年 (件)	割合 (%)	令和3年 (件)	割合 (%)	増減
火災件数	44	100.0%	58	100.0%	14
建物火災	30	68.2%	34	58.6%	4
住宅火災	11	36.7%	18	52.9%	7
林野火災		0.0%	1	1.7%	1
車両火災	4	9.1%	10	17.3%	6
その他火災	10	22.7%	13	22.4%	3



2 火災の特徴

■ 火元建物の焼損程度別件数

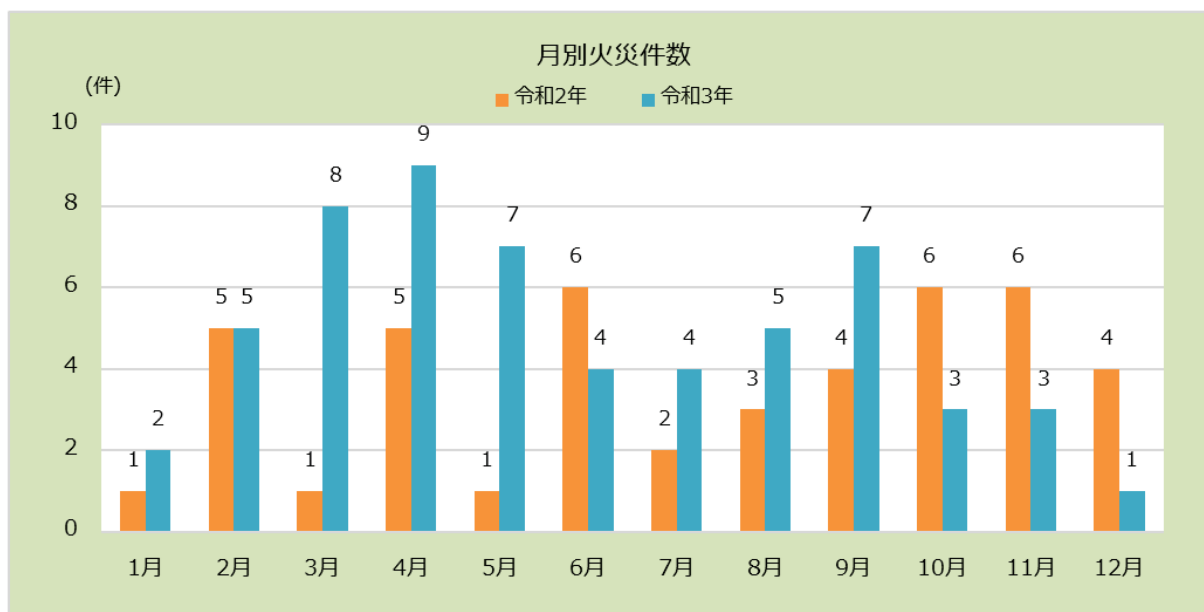
火元建物を焼損程度別にみると、ぼや火災が17件と最も多く、建物火災全体の半数を占めています。



※爆発に該当する火災を除く

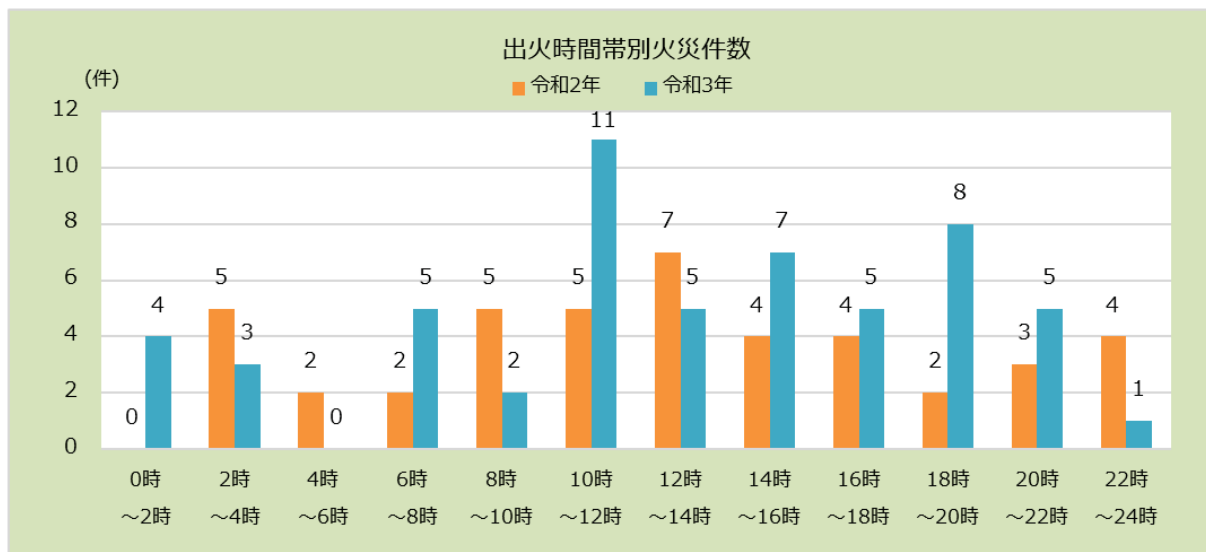
■ 月別火災発生状況

ひと月当たりの平均は約5件で、4月は最も多い9件の火災が発生しました。



■ 時間帯別火災発生状況

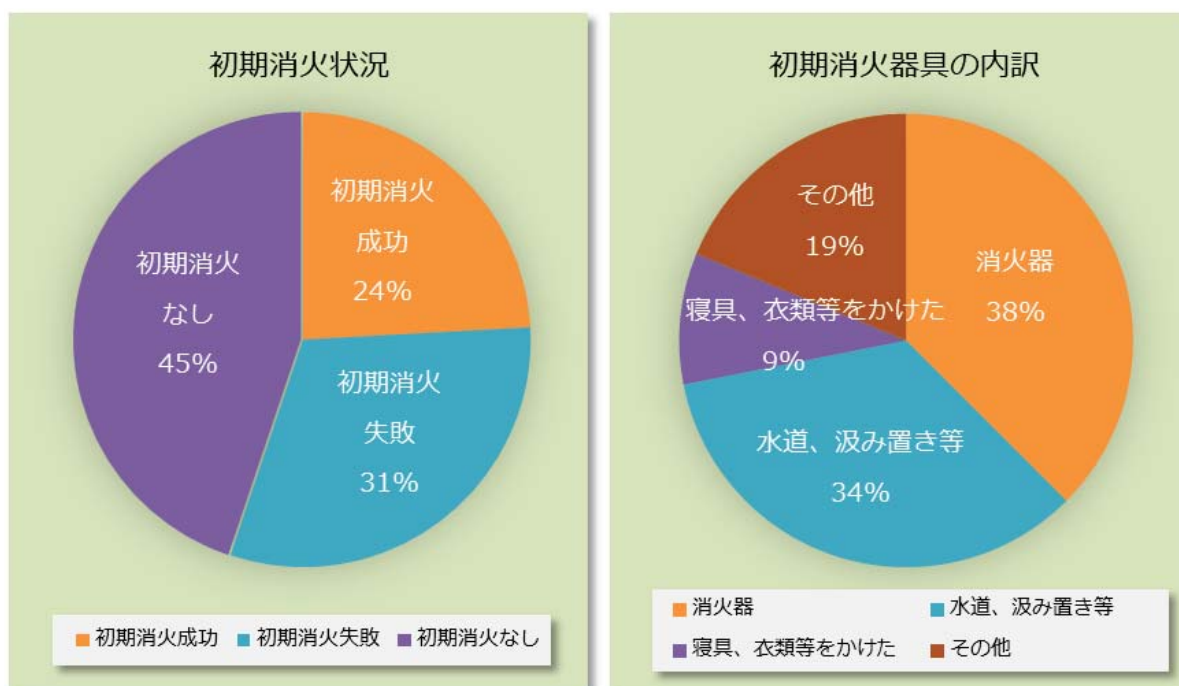
最も火災の多い時間帯は午前10時から正午の間でした。日中の火災が多い傾向です。



※出火時刻不明2件を除く

■ 初期消火状況

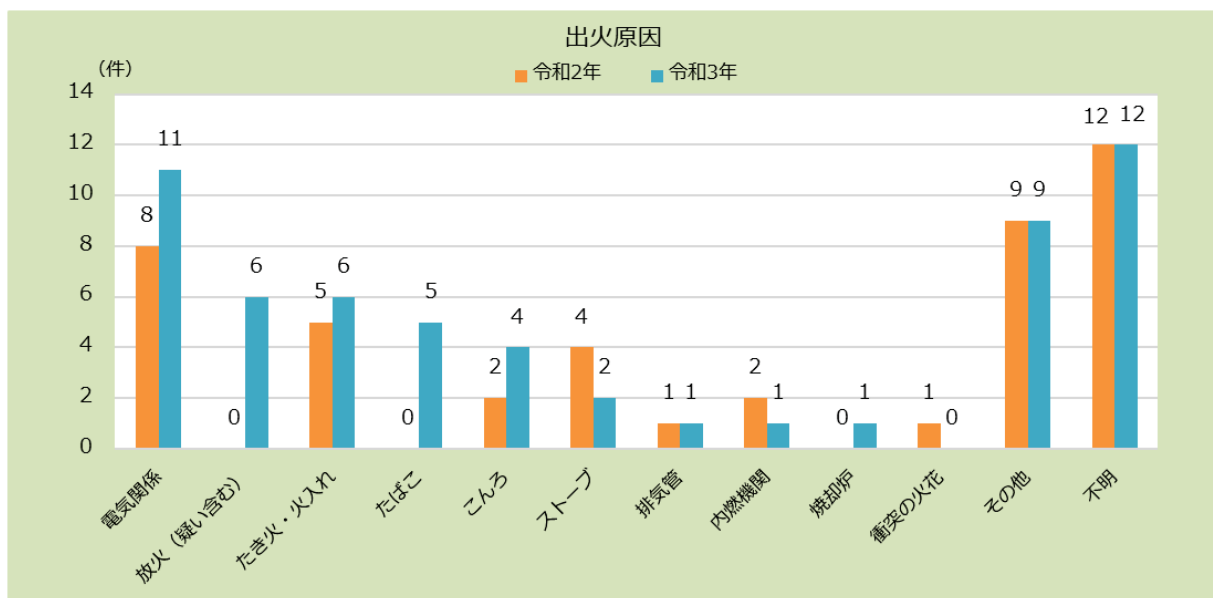
初期消火状況を見ると、約6割の火災で初期消火が行われており、そのうち約4割が消火器によるものです。



3 出火原因

■ 出火原因は「電気関係」が1位

主な出火原因をみると、「電気関係」が11件と最も多く、次いで「放火（疑いを含む）」「たき火・火入れ」が各6件、「たばこ」が5件でした。



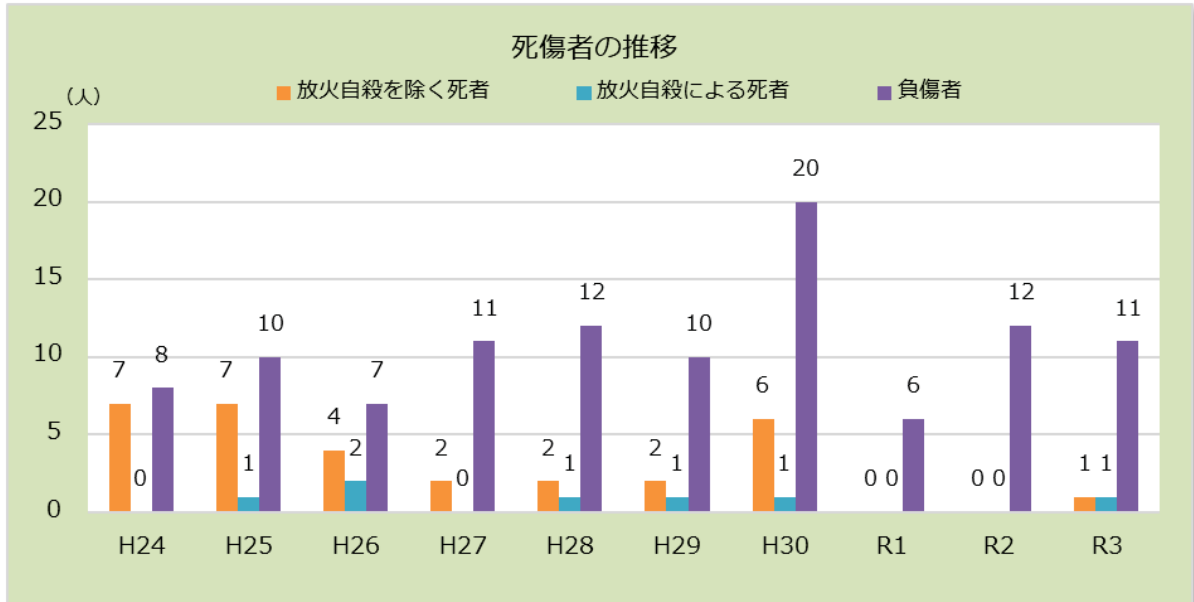
■ 出火原因の詳細

■ 電気関係	電気配線の発熱等	5
	家電製品	3
	コンセントプラグ部の発熱	2
	低圧進相コンデンサ	1
■ たばこ	不適當なところに捨て置く	3
	消したはずが再燃する	2
■ こんろ	衣服が火に近づき着火	2
	調理中、食用油に着火	2

4 火災による死傷者

■火災による死者2人、負傷者は11人

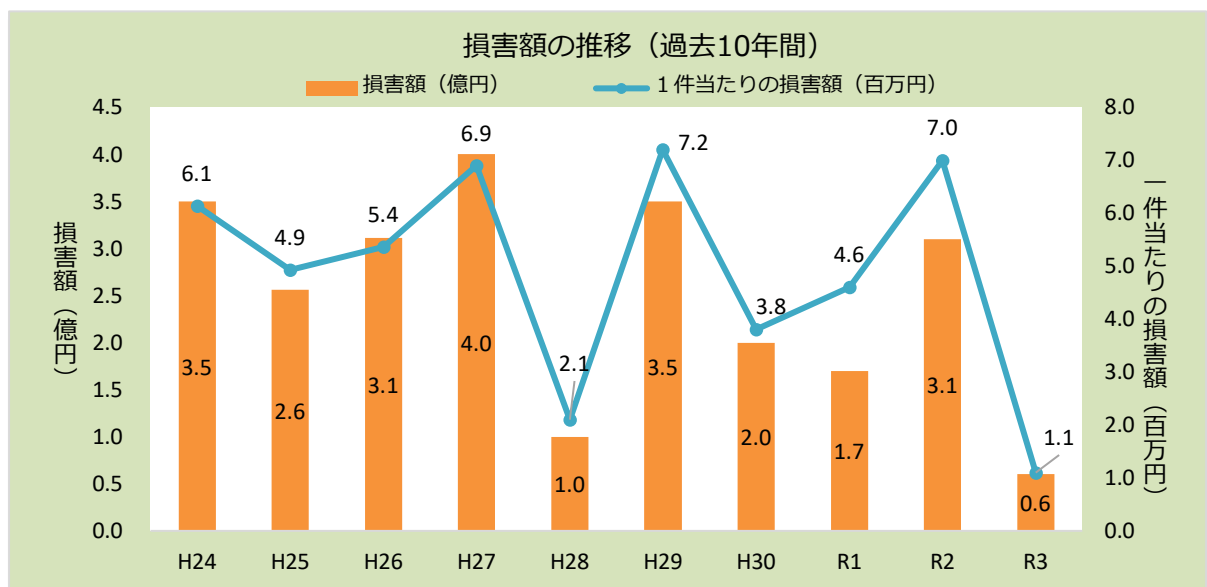
住宅火災の逃げ遅れによる死者が1人発生しました。



5 損害額の推移

■火災による損害額の推移

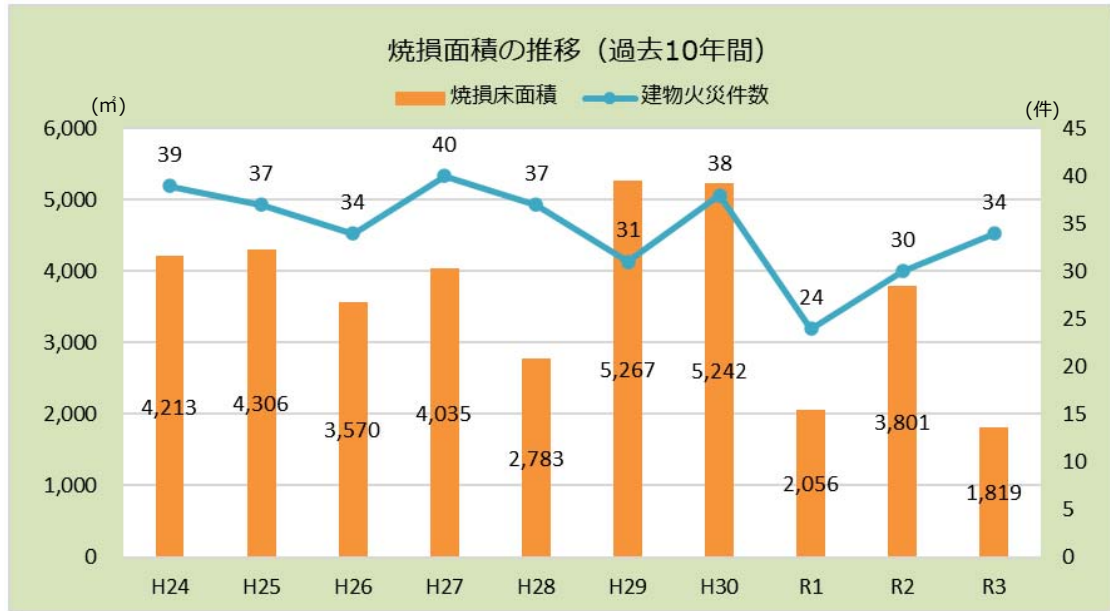
火災損害額は総額で6,480万円、1件当たり112万円となり、いずれも過去10年で最も少なくなりました。



6 焼損面積の推移

■ 総焼損床面積は1,819㎡

焼損床面積は1,819㎡で、過去10年で最も少なくなりました。



7 住宅火災の状況

■ 住宅火災の損害状況

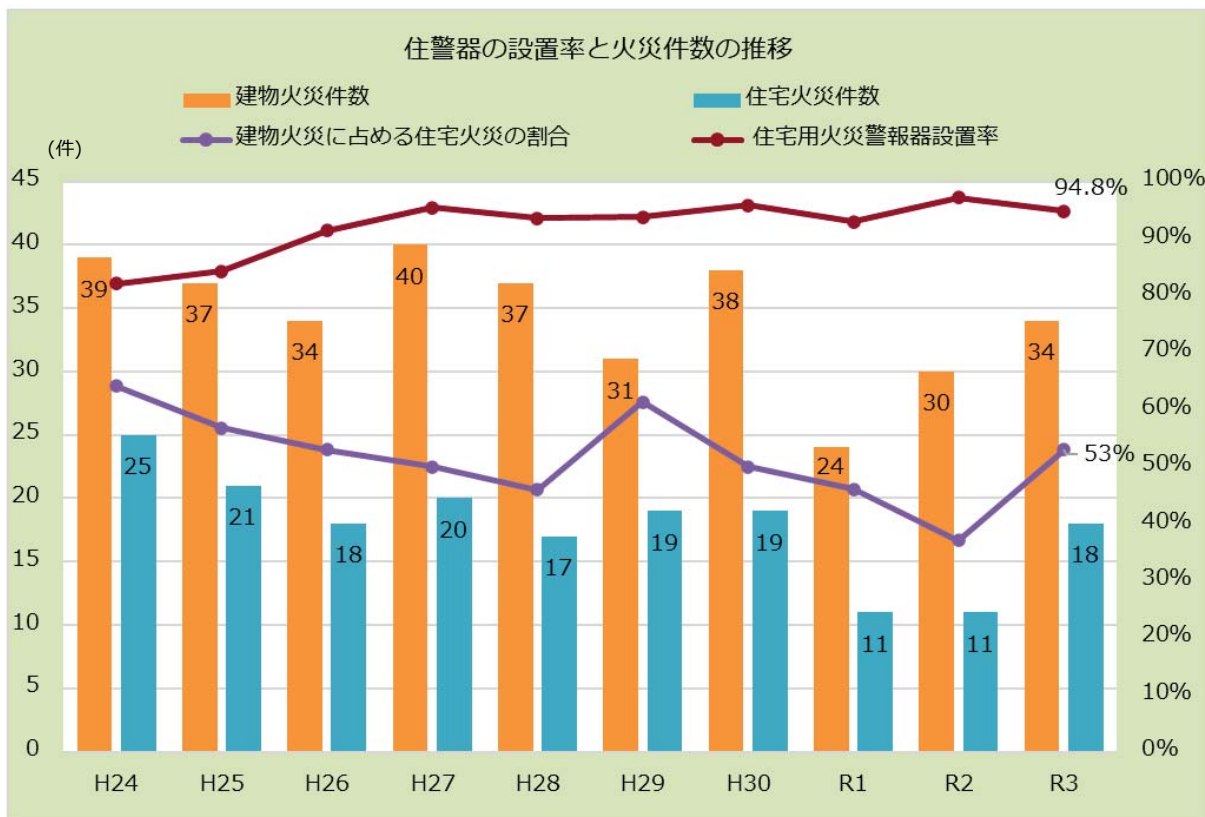
住宅火災※の発生割合は過去10年平均と比べて大きな差はありませんでしたが、火災損害額は大幅に減少しました。

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	過去10年平均
建物火災件数	31	38	24	30	34	34
うち住宅火災	19	19	11	11	18	18
住宅火災割合	61.3%	50.0%	45.8%	36.7%	52.9%	52.9%
焼損棟数	78	70	38	61	56	60
うち住宅火災	60	35	22	31	30	35
住宅火災割合	76.9%	50.0%	57.9%	50.8%	53.6%	58.3%
建物火災損害額（千円）	330,567	199,335	153,491	302,664	62,907	233,407
うち住宅火災	172,048	81,700	98,365	178,207	23,780	117,802
住宅火災1件当たり	9,055	4,300	8,942	16,201	1,321	6,545

※住宅火災：専用住宅、共同住宅の住戸部分、併用住宅（住居部分の面積が延べ面積の20%以上のものに限る）の住宅部分から出火した火災をいう。

■ 住宅火災件数の推移

建物火災に占める住宅火災件数の割合は53%で、過去10年の平均値となりました。



8 住宅用火災警報器

■ 住宅用火災警報器の設置率

令和3年6月1日時点における住宅用火災警報器の設置率は94.8%、条例適合率は64.9%となっています。

住宅用火災警報器の設置率 (令和3年6月1日現在)		
	設置率 ※1	条例適合率 ※2
上越地域消防	94.8%	64.9%
新潟県	86.6%	70.9%
全国	83.1%	68.0%

※1 設置率：火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上に設置されている世帯の全世帯に占める割合

※2 条例適合率：火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全世帯に占める割合

9 火災状況比較

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	過去10年 平均
火災件数	48	53	38	44	58	51.7
建物火災	31	38	24	30	34	34.4
住宅火災	19	19	11	11	18	17.9
住警器設置状況						
設置あり (一部設置含む)	9	13	8	6	12	11.4
設置なし	8	5	2	5	5	5
不明	2	1	1		1	1.5
林野火災	2		1		1	1.5
車両火災	8	9	6	4	10	8.6
船舶火災			1			0.1
その他火災	7	6	6	10	13	7.1
焼損棟数	78	70	38	61	56	59.7
り災世帯	42	31	20	34	29	31.9
り災人員	103	80	61	79	65	78.4
建物焼損床面積 (㎡)	5,267	5,242	2,056	3,801	1,819	3,641
建物焼損表面積 (㎡)	665	691	757	381	120	432.5
林野焼損面積 (a)	259		36		51	118.2
損害額 (千円)	345,603	202,131	174,602	308,464	64,802	252,800
死者合計 (人)	3	7	0	0	2	3.8
(うち放火自殺者数)	(1)	(1)			(1)	(0.7)
建物火災	3	5			2	3.1
林野火災						0
車両火災						0.2
船舶火災						0
その他火災		2				0.5
負傷者合計 (人)	10	20	6	12	11	10.7
建物火災	7	17	3	9	8	8.1
林野火災	1					0.4
車両火災	1	1		1	1	0.6
船舶火災						0
その他火災	1	2	3	2	2	1.6

10 管内地域別署所別火災状況比較

地域	区分	火災件数		焼損棟数		り災世帯数		死傷者数 (死者数)		建物焼損床面積 (㎡)		損害額 (千円)		出火率 ※1
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	
合計		44	58	61	56	34	29	12 (0)	13 (2)	3,801	1,819	308,464	64,802	2.7
上越市	旧上越市	24	33	41	33	26	19	7	4 (1)	2,436	642	236,388	13,770	2.6
	安塚区	1										40		0.0
	浦川原区	1	2		1				2 (1)			3,320	59	6.5
	大島区		1											7.7
	牧区	1	1	1	1			1		706	81	15,312	680	6.1
	柿崎区		3		1				1				164	3.4
	大潟区	2	1	1	1	1	1		1	104	144	1,920	9,310	1.1
	頸城区		3		2		1		1				360	3.2
	吉川区	1	4	1	11	1	4	2			773		35,749	10.8
	中郷区	2	1	1	1					22	19	45	360	2.9
	板倉区		2		3		2		2		152		2,092	3.2
	清里区	3		2						4		62		0.0
	三和区	1	3	1								68		5.7
	名立区													0.0
	小計		36	54	48	54	28	27	10 (0)	11 (2)	3,272	1,811	257,155	62,544
妙高市	新井地域	3	3	6	2	4	2	1	2	306	8	15,507	1,768	1.3
	妙高原地域	3		6		2		1		223		33,466		0.0
	妙高地域	2	1	1								2,336	490	3.0
	小計		8	4	13	2	6	2	2 (0)	2 (0)	529	8	51,309	2,258
上越消防署 ※2		13	20	27	14	18	6	2	1	1,752	321	160,711	7,037	
上越南消防署		11	16	14	21	8	14	5	4 (1)	684	321	75,677	7,093	
新井消防署		5	6	7	6	4	4	1	4	328	179	15,552	4,220	
頸北消防署		3	8	2	13	2	5	2	2	104	917	1,920	45,223	
頸南消防署		5	1	7		2		1		223		35,802	490	
東頸消防署		2	3		1				2 (1)			3,360	59	
名立分遣所														
高士分遣所		5	4	4	1			1		710	81	15,442	680	

※1 出火率：人口1万人当たりの火災件数

※2 令和2年は上越北消防署分を含む

救急編

1 救急出場状況

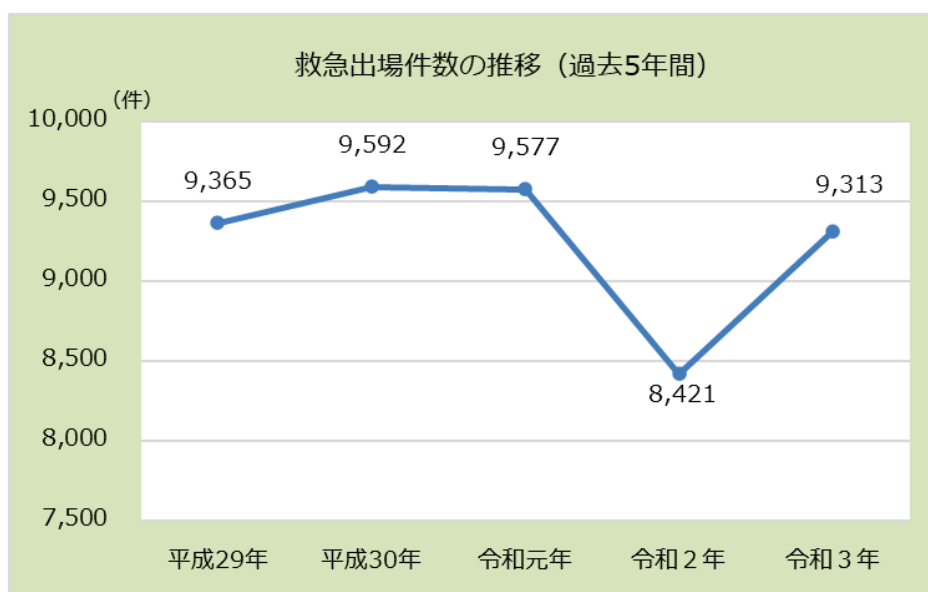
■ 救急出場件数は9,313件

令和3年の救急出場件数は9,313件で、前年に比べ892件増加しました。1日平均25.5件、約56分に1回の割合で救急車が出場したことになります。

事故種別救急出場件数			
	令和2年	令和3年	増減
急病	5,204	5,864	660
一般負傷	1,480	1,499	19
交通事故	405	385	▲20
労働災害	128	142	14
運動競技	32	43	11
自損行為	72	91	19
加害	27	14	▲13
火災	9	7	▲2
自然災害		5	5
水難事故	7	13	6
その他	42	73	31
転院搬送	1,015	1,177	162
合計	8,421	9,313	892

■ 過去5年間の推移

令和3年は例年並みの件数となりました。



■管内地域別署所別救急出場状況

令和3年の市町村別救急出場件数は、上越市が7,962件、妙高市が1,344件でした。

救急事故種別件数														
	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
合計	9,313	7	5	13	385	142	43	1,499	14	91	5,864	1,177	73	
上越市	旧上越市	5,396	2	2	9	249	67	29	799	10	65	3,395	724	45
	安塚区	161				1	1		20	1	1	101	34	2
	浦川原区	145	2			5	4		25		6	79	24	
	大島区	95				6	2		17		2	52	15	1
	牧区	107		1		1	3	1	21		1	70	9	
	柿崎区	410		1		16	9	2	64	1	1	253	60	3
	大潟区	363	1		1	12	8	3	64	1	1	240	26	6
	頸城区	351	1	1		13	9		65		2	248	10	2
	吉川区	162				3	3		31			108	15	2
	中郷区	116				6	3		25		1	77	3	1
	板倉区	221	1			8	2	2	29	1	1	151	24	2
	清里区	98			1		2		13			59	23	
	三和区	198				9	2		27		1	125	33	1
	名立区	139			1	3			25		2	97	8	3
小計	7,962	7	5	12	332	115	37	1,225	14	84	5,055	1,008	68	
妙高市	新井地域	932				27	17	2	173		6	591	113	3
	妙高高原地域	289			1	12	4	2	80		1	135	53	1
	妙高地域	123				10	6	2	20			81	3	1
	小計	1,344	0	0	1	49	27	6	273	0	7	807	169	5
他市町村	7				4			1			2			
上越消防署	2,841	2	3	9	138	48	13	412	4	34	1,767	388	23	
上越南消防署	2,623	1			111	19	17	401	6	26	1,657	362	23	
新井消防署	1,313	2			46	23	5	230	1	7	846	148	5	
頸北消防署	841				32	18	2	145	2	3	556	74	9	
頸南消防署	406			1	21	10	4	95		2	220	51	2	
東頸消防署	488	2			14	8	1	77	1	9	297	75	4	
名立分遣所	193			2	7	2		38		5	128	8	3	
高土分遣所	608		2	1	16	14	1	101		5	393	71	4	
合計	9,313	7	5	13	385	142	43	1,499	14	91	5,864	1,177	73	

2 救急搬送人員

■救急搬送人員は8,871人

救急搬送人員は8,871人で、高齢者の搬送が70%を占めています。

救急搬送人員								
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	高齢者の割合	合計	割合
旧上越市	18	141	116	1,396	3,422	67.1%	5,093	57.4%
安塚区			2	20	131	85.6%	153	1.7%
浦川原区				25	113	81.8%	138	1.6%
大島区		2		21	73	76.0%	96	1.1%
牧区			2	20	81	78.6%	103	1.2%
柿崎区		2	5	77	316	79.0%	400	4.5%
大潟区	1	7	9	82	252	71.7%	351	3.9%
頸城区		2	3	74	257	76.4%	336	3.8%
吉川区		1	3	23	121	81.7%	148	1.7%
中郷区		2	2	22	83	76.1%	109	1.2%
板倉区		1	10	46	153	72.8%	210	2.4%
清里区		2		17	77	80.2%	96	1.1%
三和区		5		29	162	82.6%	196	2.2%
名立区		4	1	22	107	79.8%	134	1.5%
新井地域		29	15	218	638	70.8%	900	10.1%
妙高高原地域		6	9	75	190	67.8%	280	3.2%
妙高地域		4	7	34	75	62.5%	120	1.3%
他市町村				7	1	12.5%	8	0.1%
合計	19	208	184	2,208	6,252	70.4%	8,871	100.0%

※年齢区分

新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上7歳未満

少年：7歳以上18歳未満

成人：18歳以上65歳未満

高齢者：65歳以上

■ 過去5年間の推移

平成29年からの統計では、軽症者の占める割合が減少傾向にあります。

傷病程度※別救急搬送人員の推移（過去5年間）					
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
軽 症	4,203	4,189	4,160	3,561	3,868
中 等 症	3,519	3,524	3,750	3,378	3,824
重 症	1,010	1,071	974	893	967
死 亡	227	251	256	228	212
そ の 他			2		
合 計	8,959	9,035	9,142	8,060	8,871

※傷病程度

軽 症：入院を要しないもの

中等症：21日未満の入院を要するもの

重 症：21日以上入院を要するもの

死 亡：初診時死亡が確認されたもの

その他：医師の診断のないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

3 救急活動平均所要時間

■ 現場到着時間は平均9.7分、病院収容時間は平均38.5分

救急車の現場到着時間※1は平均9.7分、病院収容時間※2は38.5分となっています。

事故種別	所要時間	現場到着（分）		病院収容（分）	
		令和2年	令和3年	令和2年	令和3年
急 病		9.3	9.8	36.6	37.6
交 通 事 故		9.9	9.9	41.1	41.4
一 般 負 傷		9.7	10.6	40.3	41.4
上 記 以 外		8.6	8.5	38.1	37.7
平 均		9.3	9.7	37.7	38.5

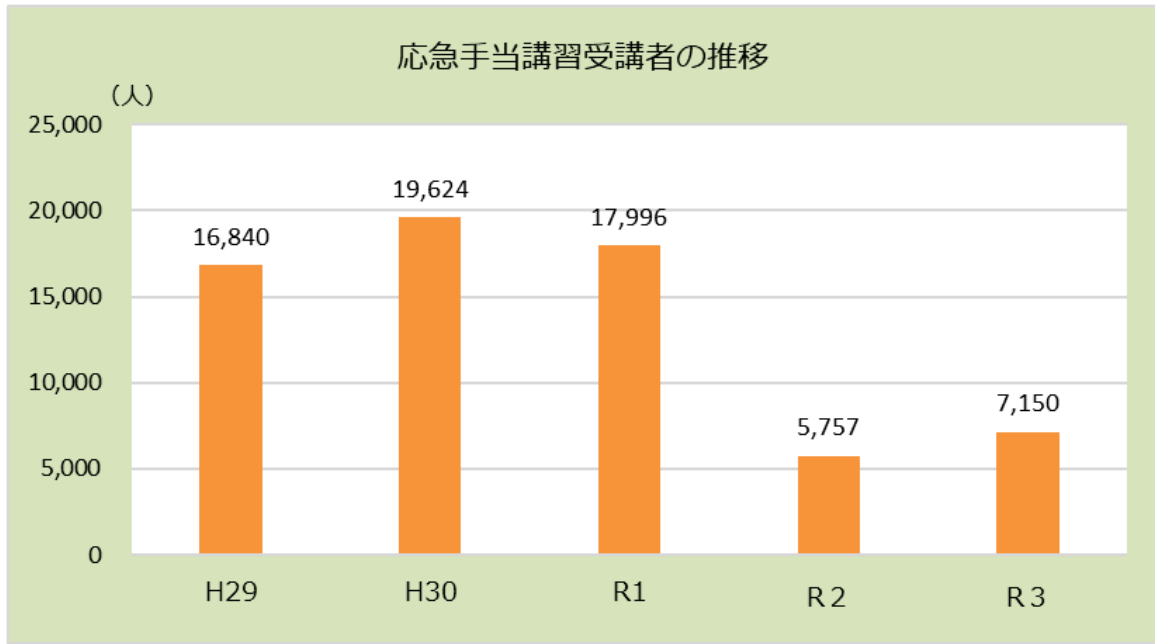
※1現場到着時間：覚知から現場到着までの所要時間

※2病院収容時間：覚知から病院収容までの所要時間

4 応急手当実施状況

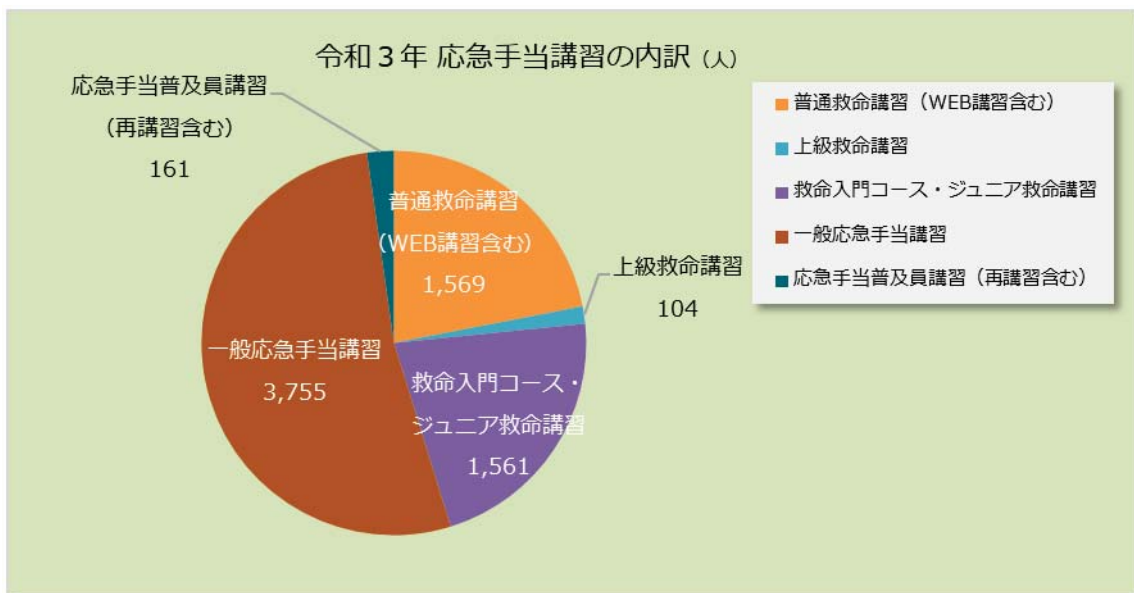
■ 応急手当講習受講者の推移

新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見えない中、受講者は減少しています。



■ 応急手当講習の内訳

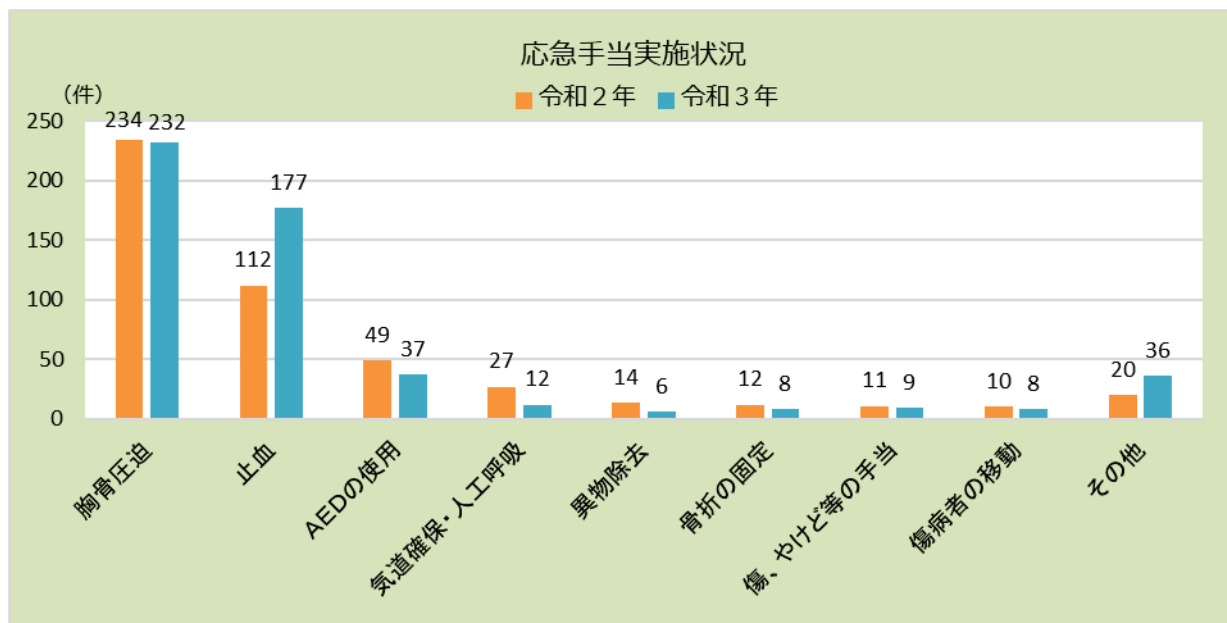
普通・上級救命講習や事業所での指導者育成を目的とした応急手当普及員講習を中心に、質の高い応急手当ができるバイスタンダー※の育成を行いました。



※バイスタンダー：救急現場に居合わせた人

■ 応急手当実施状況

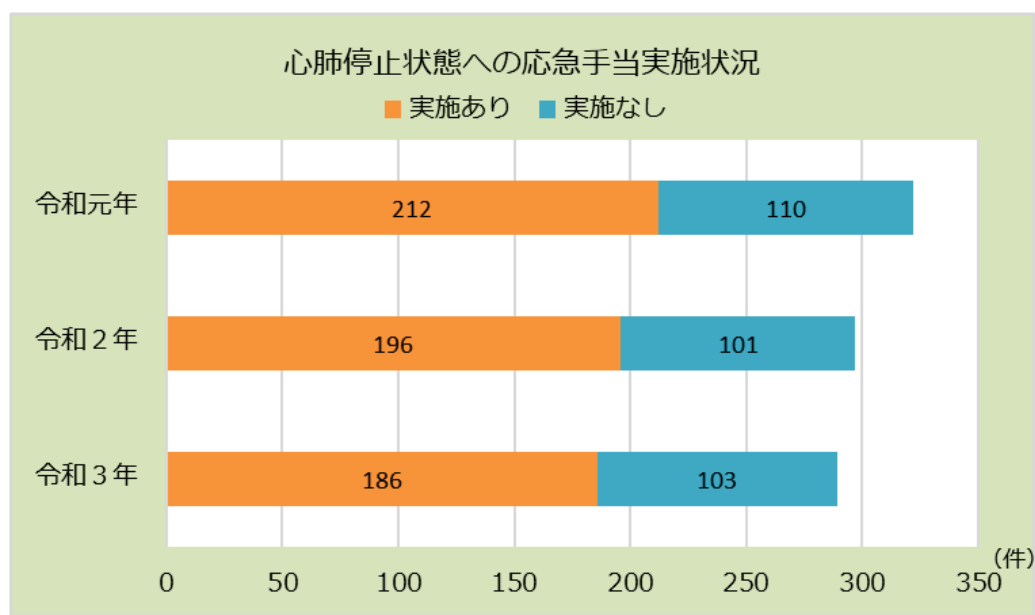
バイスタンダーによる応急手当実施件数※は525件で前年よりも36件増加しました。



※応急手当実施件数：現場到着時に救急隊が実施を確認できた件数

■ 心肺停止状態の傷病者への応急手当実施状況

バイスタンダーが心肺停止状態の傷病者に胸骨圧迫やAED等の応急手当を実施していた割合は、過去3年とも6割以上となっており、令和3年は62%に上ります。



救助編

1 救助出場状況

■ 救助出場件数は54件

令和3年の救助出場件数は54件で、前年の約1.7倍となりました。

大雪による「自然災害」、建物内の閉じ込め等の「建物等事故」、山岳遭難等の「その他事故」が大幅な増加となりました。

救助出場件数						
事故種別	出場件数			活動件数		
	令和2年	令和3年	増減	令和2年	令和3年	増減
火災		2	2		2	2
交通事故	16	13	▲3	8	11	3
水難事故	5	8	3	4	5	1
自然災害		7	7		4	4
機械事故	5	8	3	4	6	2
建物等事故		5	5		5	5
ガス酸欠事故						
破裂事故						
その他事故	5	11	6	5	9	4
合計	31	54	23	21	42	21

2 地域別救助出場状況

地域別救助出場件数											
		救助事故種別							出場件数		増減
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	その他事故	令和3年	令和2年	
上越市	旧上越市	2	6	6	3	3	4	1	25	14	11
	安塚区							1	1	1	
	浦川原区										
	大島区		1					1	2		2
	牧区				1				1		1
	柿崎区		1		1	1		1	4	3	1
	大湊区					1			1	1	
	頸城区		1		1				2	2	
	吉川区										
	中郷区				1			1	2	3	▲1
	板倉区					1			1	1	
	清里区										
	三和区		1			1	1		3		3
	名立区				1			1	2		2
	小計	2	10	7	7	7	5	6	44	25	19
妙高市	新井地域									3	▲3
	妙高高原地域		1	1				3	5	2	3
	妙高地域		1			1		2	4	1	3
	小計		2	1		1		5	9	6	3
他市町村			1						1		1
合計	令和3年	2	13	8	7	8	5	11	54	31	23
	令和2年		16	5		5		5	31		
増減		2	▲3	3	7	3	5	6	23		

通信編

1 1 1 9 番通報受付状況

■ 1 1 9 番通報は 1 3 , 8 7 4 件

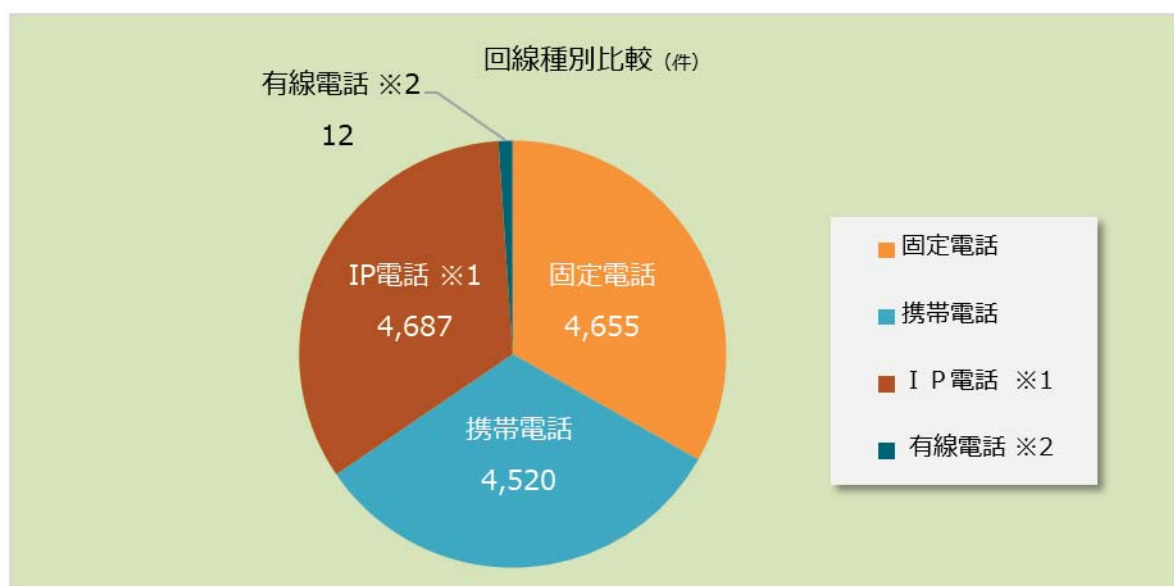
令和3年の119番受付件数は13,874件で、前年比で629件増加しています。1日平均38件、約38分に1回の割合で119番通報を受け付けたこととなります。

通報種別件数					
	令和2年	割合	令和3年	割合	増減
火 災	109	0.8%	81	0.6%	▲ 28
救 急	7,564	57.1%	8,427	60.7%	863
救 助	13	0.1%	17	0.1%	4
警 戒	76	0.6%	88	0.6%	12
通報訓練※1	4,078	30.8%	3,734	26.9%	▲ 344
まちがい※2	895	6.7%	910	6.6%	15
問 合 せ※3	510	3.9%	617	4.5%	107
合 計	13,245	100.0%	13,874	100.0%	629

※1 「試験」を含む

※2 「いたずら」を含む

※3 「病院照会」等を含む



※1 インターネットプロトコルを利用した電話サービス

※2 上越有線、新井有線

2 口頭指導状況

■口頭指導件数は646件

119番通報受信時、通報者に対して傷病者の状態に応じた処置を指導した件数です。

	令和2年	令和3年	増減
心肺蘇生	1	4	3
胸骨圧迫	337	332	▲5
異物除去	10	4	▲6
止血	166	275	109
熱傷	4	2	▲2
指趾切断	6	4	▲2
その他	55	25	▲30
合計	579	646	67


3 外国語通訳状況

■外国語通訳事例は6件

令和2年は外国人スキー客の救急搬送に伴う通訳事例が多くありましたが、令和3年は大幅に減少しました。

	令和2年	令和3年
1月	7	
2月	18	
3月	3	
4月		1
5月		
6月	4	2
7月		
8月	1	
9月		
10月	1	
11月		2
12月	2	1
合計	36	6

令和3年 火災・救急・救助・通信の概況

上越地域消防局 概況 

当局ホームページにも掲載しています

上越地域消防局 発行
上越市大字藤野新田 330 番地 1